

ご存知ですか？ 心臓の負荷をみる BNP検査！

ご存知ですか？ 心不全！

◆BNP（脳性ナトリウム利尿ペプチド）とは？

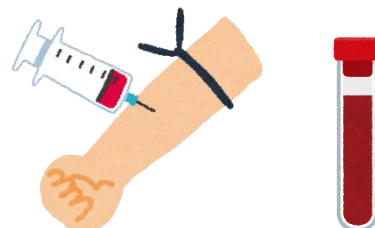
心臓を守るために心臓から分泌されるホルモンです。

心臓の機能が低下して心臓に負担がかかると分泌され、負担が大きいほどBNPの値が高くなります。

心不全の診断や重症度の評価に用いられる指標のひとつです。

◆BNPはどのような検査？

一般的な血液検査と同じです。



◆BNP検査で心臓病のすべてがわかる？

基礎疾患（心不全の原因となる病気）の診断には、他の血液検査や心電図、心臓超音波、レントゲン、核医学、心臓カテーテルなどの検査が必要となります。

◆BNPの正常値は？

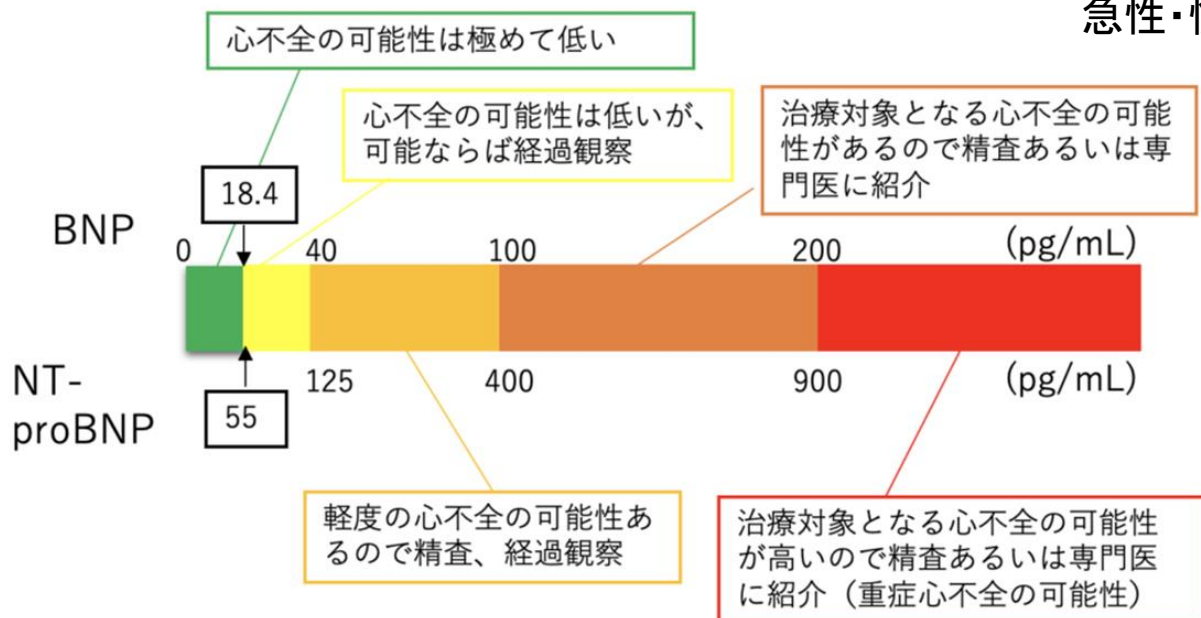
一般的には18.4pg/ml以下とされますが、40pg/ml以下であればすぐ治療が必要な心不全の可能性は低いとされています。

※NT-proBNPも同じ目的で使用されていますが、BNPより4～5倍高い数値を示すため、どちらの検査を行ったのか確認が必要です。

参考資料：日本心不全学会 心不全予防委員会作成パンフレット

【BNP, NT-proBNP 値の心不全診断へのカットオフ値】

急性・慢性心不全診療ガイドラインより



その息切れ、本当に歳のせい？ ～心不全の早期発見と予防～



◆息切れの原因は？

運動不足、ストレスや不安、加齢などですが、病気が隠れていることもあります。貧血や睡眠時無呼吸症候群、肺疾患や心臓疾患（心不全、狭心症、不整脈、弁膜症など）でも息切れが出現します。

◆心不全とは？

あらゆる心臓病の終末像といわれ、症状のない高血圧でも放置するといずれ心不全に至ります。心不全は心臓の機能が低下した結果、息切れやむくみが発生し、命を縮める病態です。心不全の原因となる心臓の病気が存在します。

◆◆◆ 心不全は見逃しやすい ◆◆◆

心不全は高齢者に多くみられます。息切れの症状は年齢的な変化と思い、かかりつけの先生に相談しない方がいます。心不全なのに心不全としての治療をしていない方を隠れ心不全といいます。

心不全が増悪してから治療開始すると改善するまで時間がかかるため予防と早期発見・早期治療が重要です。

◆心不全の症状は息切れだけ？

心不全ではむくみや疲れやすさ、食欲低下などもみられます。息切れに加えむくみが出てきたなど心当たりがある方はかかりつけの先生に相談しましょう。



◆かかりつけの先生が心臓専門の先生でないときは？

かかりつけが心臓専門の先生でなくても大丈夫です。BNP検査で数値が高かったら心臓専門の先生に紹介してもらいましょう。

◆心不全の予防

心不全は予防可能です。

心臓の病気がみつかったら放置せず早期から生活習慣病の予防や治療を開始しましょう。

症状のない高血圧症でも心不全予備軍ですのでご注意ください。

